

FFTA10APR/10BPR

CCD スキャナ

RS232 シリアルインタフェース

ご利用の手引き

1.0a 版
(2015 年 9 月)

はじめに

このたびは CCD スキャナ FFTA10AP/10BP シリーズをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本取扱説明書には、FFTA10AP/10BP シリーズの外部機器との接続方法および内部パラメータの設定方法について記載してありますので、初めて FFTA10AP/10BP シリーズを使用する前に必ずお読みください。

ご注意

- (1) 本書の内容の全部または一部を無断で複製することは禁止されています。
- (2) 本書の内容については改良のため予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- (3) 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気づきのことがございましたら巻末の弊社担当窓口までご連絡くださるようお願い申し上げます。
- (4) 本書に基づいて FFTA10AP/10BP を運用した結果の影響については、(3) 項にかかわらず弊社では責任を負いかねますのでご了承くださいようお願い申し上げます。

商標について

Microsoft® Windows®は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他の商標および登録商標は、所有各社に帰属します。

日栄インテック株式会社 開発事業部 Auto-ID グループ



〒110-0016 東京都台東区台東 3-42-5 日栄インテック御徒町第1ビル

電話：03-5816-7141 FAX：03-5816-7140 e-mail：info@barcode.ne.jp

安全上のご注意








ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。



本書では、製品を安全に正しくお使いいただくため、また機器の損傷を防ぐため、次の記号を用いて、守っていただきたい事項を示しています。

 警告	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示の内容を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

記号の意味：

- ⚠記号は、注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを示しています。
- 🚫記号は、禁止（してはいけないこと）であることを示しています。
- 🔌記号は、必ずして欲しい内容を示しています。

 警告	
<p>重要：システム設計者へ</p> <p>◆ 薬品の管理など、人命に影響を与える可能性があるシステムでは、データが誤った場合でも人命に影響を与える可能性が無いよう、冗長設計、安全設計には十分ご注意ください。</p>	
<p>◆ 次のような場合は、すぐにホスト側の電源を切り、インタフェースケーブルのコネクタを抜いて販売店にご連絡ください。</p> <p>そのまま使用すると、火災や感電、事故または故障の原因になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ➢ 煙がでている場合、変なにおいや音がしている場合 ➢ 製品の内部やすき間に、金属片や水などの異物が入った場合 ➢ 製品を落とすなどして動作しなくなった場合、ケースが破損した場合 	
<p>◆ 製品を分解したり、改造したりしないでください。</p> <p>事故や故障の原因になります。</p>	
<p>◆ 湿気の異常に多い場所や水滴のかかる可能性のある場所では使用しないでください。</p> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>	
<p>◆ 製品の内部やすき間に、金属片を落としたり、水などの液体をこぼしたりしないでください。</p> <p>火災や感電、故障の原因になります。</p>	
<p>◆ 濡れた手で、インタフェースケーブルなどを接続したり取り外したりしないでください。</p> <p>感電の原因となることがあります。</p>	

 注意	
<p>次のようなことは、絶対に行なわないでください。守らないと、火災や感電、事故または故障の原因となります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ スキャナ本体やインタフェースケーブルの上に重たいものを置かないでください。また重いもの下敷きにならないようにしてください。 ◆ スキャナ本体をたたいたり落としたりして衝撃を与えないでください。 ◆ 不安定な場所に置かないでください。 ◆ インタフェースケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、強く引っ張ったりしないでください。 	

セットアップ

- (1) スキャナのケーブルが、使用するホスト装置の RS-232 ポートに正しく接続できるか確認します。
- (2) ケーブルをホスト装置の RS-232 コネクタに接続します。
- (3) スキャナに電源が供給されているか確認してください。
※ 一般に、PC の COM ポートからは電源供給されません。PC の COM ポートに接続して使用する場合は、別途、オプションの AC アダプタをお買い求めください。
- (4) 電源が供給され、スキャナのブザーが鳴れば、準備完了です。
※ 設定によっては、2 回目以降の接続では電源投入時の起動ブザー音が鳴動しないことがあります。
- (5) この後、必要に応じて、各種パラメータを設定してください。

設定手順

- (1) 『開始』バーコードを読み取ります。ブザーが「プピピピッ」と 4 音のメロディで鳴り、設定モードに入ったことを知らせます。設定モードの間は、表示 LED が点滅し続けます。
 - (2) 変更したいパラメータの設定バーコードを読み取ります。ブザーが「プププ」と 3 回鳴り、設定バーコードを読み取ったことを知らせます。(パラメータによって、ブザーの鳴り方、メロディは異なります。)
 - (3) 必要な設定が終わったら、『終了』バーコードを読み取ります。ブザーが「ピププ、ピーッ」と 4 音のメロディで鳴り、設定モードが終了したことを知らせます。
 - (4) 複数のパラメータを設定する場合は、(1) ～ (3) を繰り返します。
- ※ 設定内容がわからなくなってしまった場合は、一度「出荷時設定」に戻してから、必要に応じてパラメータを変更してください。
- ※ パラメータによっては、複数の設定バーコードを順番に読み取って設定するものがあります。順番を間違えると、「プププッ」と短いブザーが 4 回鳴ります。
- ※ パラメータによっては、『終了』バーコードが不要で、自動的に設定終了となるものがあります。

出荷時設定

RS232 シリアルインタフェースの FFTA10AP/10BP シリーズスキャナを出荷時設定に戻すには、下のバーコード1つを読み取れば完了となります。



設定初期化



開始

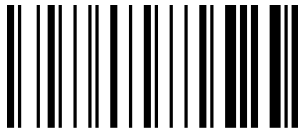
RS-232 接続の各種設定

初期設定値

<FFTA10AP/10BP シリーズ>の RS232 シリアルインタフェースにおける通信設定の初期設定値は次の通りです：

フロー制御：	なし（無手順）	データビット：	8
ボーレート：	9600	パリティ：	なし
スタートビット：	1（固定）		

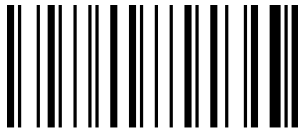
ボーレート



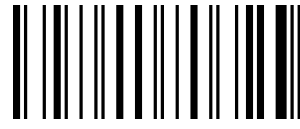
1200



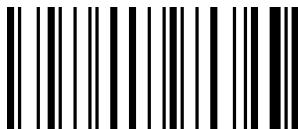
2400



4800



9600



19200



38400

データビット



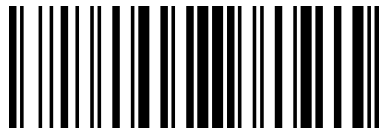
7 ビット



8 ビット



終了



開始

パリティ



奇数 (Odd)



偶数 (Even)

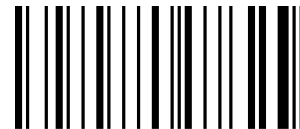


なし (None)

ハンドシェイク



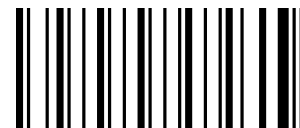
ハードウェア (RTS/CTS)



ソフトウェア (Xon/Xoff)



なし (無手順)



ハードウェア (RTS/CTS)
+ ACK/NAK プロトコル



終了



開始

データサフィックス（データ後付加文字列）の設定

FFTA10AP/10BP シリーズでは、サフィックスとターミネータとが統合され、ターミネータもサフィックスとして設定します。ここでは、一般的にターミネータとして設定されることが多い代表的なものを記載しています。

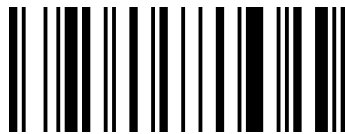
初期値では、「付加しない」が設定されています。

設定手順：

『開始』→『データサフィックスの設定』→サフィックスに設定する文字を選択→『決定』（自動終了）

なお、サフィックスを「付加しない（サフィックス無し）」に設定する場合は、次の順に設定バーコードを読み取ります。

『開始』→『データサフィックスの設定』→『決定』（自動終了）



データサフィックスの設定



決定

読取バーコードシンボル体系について

下記バーコードシンボル体系は、初期設定で読取許可に設定されています。

- JAN/EAN-13、JAN/EAN-8、UPC-A、UPC-E
- コード 39
- コード 128 (GS1-128 を含む)
- コーダバー (NW7)
- コード 11

下記バーコードシンボル体系は、初期設定では読取禁止になっていますが、設定を変更することで読取可能になります。弊社 WEB サイトより取扱説明書をダウンロードして設定してください。

- JAN/EAN/UPC のアドオンコード
- GS1-DataBar (RSS コード)
- コード 39 のフル ASCII 変換
- インタリーブド 2 オブ 5 (ITF)
- インダストリアル 2 オブ 5
- マトリクス 2 オブ 5
- コード 93
- MSI/Plessey
- TELEPEN
- Pharmacode

※ その他の詳細設定については、弊社 WEB サイトより取扱説明書をダウンロードして、必要なページを印刷してご利用ください。

<http://www.barcode.ne.jp/download/408.html#FFTA10AP>